

平成 22 年 9 月 10 日

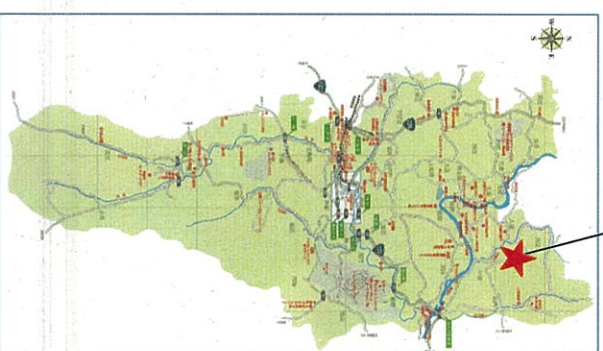
適切な電気柵設置及び維持管理について

1. 現地紹介

茂木町の北部、那須烏山市境に位置し、全国棚田 100 選のひとつにもなっている美しい棚田の広がる農村地帯。葉タバコ産業が衰退後、肉厚のシイタケ（どんこ）の栽培が盛んに行われている。

「耕して天に至る」と形容される棚田は、先人たちの努力と知恵の結晶であり、自然環境にも公益的な役割を果たす。しかし、後継者不足や生産

調整の強化から消え去ろうとしていた棚田をオーナー制度で復活させ、多面的機能の維持と都市農村交流を実施している。



入郷石畑の棚田

入郷石畑の棚田の位置

活動内容

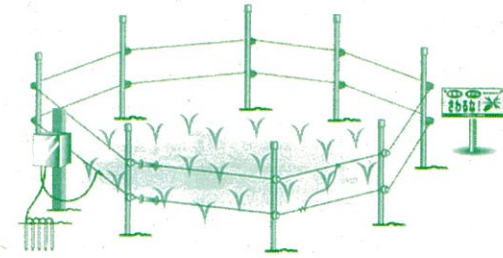
- 平成 12 年 入郷棚田保全協議会 設立（入郷地区 10 戸、棚田 187 枚）
棚田保全ボランティアの受入開始（耕作放棄地の解消）
- 平成 14 年 棚田のオーナー制度スタート
酒米「5百万石」の作付け開始
- 平成 15 年 日本酒「棚田の雫」販売開始
町内の棚田で採れた米のみで、「もてぎ棚田のお米」を道の駅にて販売開始。
滞在型施設「入郷交流館」整備
- 平成 19 年 第 13 回全国棚田サミット開催（1,500 名参加）
現 在 都心から参加のオーナーが増え、農作業体験やシイタケ狩りなどを楽しんでいる。

2. 電気柵のチェック

★入郷石畑の棚田の上空からの様子★



★電気柵チェックポイント★



①定期的な見回り

- ・ 雑草が柵線に触れると漏電の原因に
- ・ テスターでの電圧のチェック

②24 時間ON

- ・ イノシシは夜行性ではありません
- ・ バッテリーも長持ち

③柵線の高さ

- ・ イノシシはジャンプよりもぐるのが好き
- ・ 下から20cm・20cmの2段張

④イノシシの気持ちになって

- ・ 水路をまたいでいるところ
- ・ 隙間なくグルーっと設置